

【議事要旨】

会 議 名	令和6年度第7回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和6年11月6日（水）午後1時5分から午後1時30分まで
開 催 場 所	庁議室
委 員	■出席者 （委員長）荒川企画経営部長 （副委員長）湯川総務部長 （委員）相川企画課長、野々山連携協創担当課長、江村財政課長、 若杉総務課長、大浦契約管財課長 （説明員）鳥居麻布地区総合支所管理課長
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	審議事項 （1）指定管理者の公募について ・元麻布保育園 【資料1】
配布資料 (本施設に係るもの)	資料1 指定管理者候補者選定調書 資料1—2 指定管理者候補者選考委員会報告書 資料1—3 選考委員会審査結果 資料1—4 選考委員会会議録 資料1—5 指定管理者候補者の事業提案書 資料1—6 第三者評価報告書 資料1—7 令和5年度指定管理施設評価票 参考資料1 指定管理者応募者提案内容の比較表 参考資料2 現地確認報告書（選考事業者分）
会議の結果及び主要な意見（本施設に係るもの）	
（意見者）	
鳥居課長	（資料について説明）
湯川部長	今回の選考事業者について、一次審査における実績の確認は、共同事業体としての実績を確認しているのか、それぞれの事業者ごとの単独の実績を確認しているのか、どちらか。
鳥居課長	それぞれの事業者ごとの実績を確認している。両事業者が共同事業体として運営するのは今回が初めてである。
湯川部長	共同事業体として運営したことがないという点について、選考委員会で議論はあったか。
鳥居課長	今回の提案は、0歳～5歳児保育を代表事業者である社会福祉法人芳美会、医療的ケア児、障害児保育を特定非営利活動法人おれんじハウスが担当し、代表事業者である

湯川部長	社会福祉法人芳美会の園長が全体を統括する。事業者として初めての組み合わせであることについてだが、それぞれの実績が十分にあることもあり、選考委員会において特段の意見はなかった。施設所管課としては、指揮命令系統の構築など、円滑な施設運営が確保されるよう、区で持っている知見も含めて確認、支援していく。 各事業者が自身の持ち場だけのことを考えてしまうと、元麻布保育園としての一体性が損なわれてしまう恐れがある。施設所管課としてしっかりと事業者を引っ張っていくようにしてほしい。 また、提案されている経費について、現行の指定管理者と比較してどうなのか。妥当性はあるのか。
鳥居課長	現行の指定管理者の経費と比較すると、約 20% 程度上昇している。例えば、人件費では現行の事業者と比較しても手厚い職員配置数となっていたり、事業運営費では医療的ケア児の送迎が再委託の経費として計上されていることが主な要因でもある。指定管理料については、事業者の提案内容を精査した上で、予算措置し、年度協定で定めていく。
若杉課長	人件費等について、1 年ごとに約 5% ほどの上昇となっているが、その点について妥当性はあるのか。
鳥居課長	近年の人件費、物価の高騰を加味しての提案である。指定管理料については引き続き精査していく。
若杉課長	運営体制の職員人数について、非正規職員まで含めると現行の事業者よりも多い人数が配置がなされているが、妥当性はあるのか。
鳥居課長	職員の配置基準は満たしている一方で、その人数が必要なのかも含めて、引き続き精査していく。
相川課長	職員ローテーション表で職員の経験年数が記載されており、3 年目までの若手職員に偏っているが問題ないのか。
鳥居課長	指定管理者候補者の現状の体制を踏まえた提案であるが、現行の指定管理者職員の継続雇用なども見込み、全体の経験年数のバランスはそうしたところで担保していくことを確認している。
大浦課長	交流チームについて、運営にどう役立つのかご教示いただきたい。
鳥居課長	事業者が運営している他の園の職員との交流機会を設けるもので、職員の多角的な視点の醸成や孤立防止に役立てていけるものと考えている。
野々山課長	今回 5 者の応募があったが、説明会等の参加事業者数はどれくらいだったのか。
鳥居課長	21 者の参加があった。
野々山課長	説明会等には参加したが選考には応募しなかった理由は把握しているか。
鳥居課長	医療的ケア児や障害児の集団保育も行う大規模園であり、職員の確保などが課題になるということは聞いている。
野々山課長	再委託予定業務で現行の指定管理者と違う点はあるのか。
鳥居課長	送迎業務を再委託することを予定している。現在はドライバーを直接雇用して送迎業務を行っており、その点は異なっている。
荒川部長	今回の選考委員は、前回選考時の委員と異なるのか。
鳥居課長	外部委員については、全員異なる。施設を理解した上で選考していくため、事前に元麻布保育園を見学していただいている。
荒川部長	今回、2 次審査対象事業者が運営する施設を事務局が視察しているが、医療的ケア児などの保育を行う保育園を見に行ったのか。

鳥居課長	現指定管理者が通常保育の運営において課題があったことから、通常保育を担う社会福祉法人芳美会が運営する大規模な保育園を視察した。医療的ケア児などの保育を行う保育園についても、今後、視察を検討している。
荒川部長	現指定管理者の職員の継続雇用の可否は次期指定管理者が担うものではあるが、継続雇用しないことなどで関係法令に抵触するなどの懸念はあるのか。
鳥居課長	関係法令への抵触の懸念はない。
荒川部長	港区の指定管理者制度が初めての事業者でもあるので、所管課も積極的に関与して、円滑なコミュニケーションをとれるように調整してほしい。
鳥居課長	子ども政策課、連携協創担当とも協力しながら支援していく。
野々山課長	16/134 ページの採点表、選考したC事業者について、3（5）アレルギー対応、3（6）保護者とのかかわり方、4（3）園長、副園長、5（4）健康衛生管理に関して、「2」と評価している委員もいる。この点は問題ないのか。選考委員会での議論はどうだったのか。
鳥居課長	各委員が有する専門的な知見から、それぞれの委員が絶対評価で評価しており、一定程度点数のばらつきがあることは想定している。提案書の採点に当たっては選考委員会において委員同士で意見交換もしており、総合的な評価としては問題ないものと考えている。
荒川委員長 （全員）	他になければ、本件については了承でよろしいか。 異議なし。